



MESSAGE NOTES

神の家族の一員として認識されること

ヘブル人への手紙 11:24-26

ブラウン・ジェームズ

1. 公表する

ヘブル人への手紙 11:24-25 信仰によって、モーセは成人したときに、ファラオの娘の息子と呼ばれることを拒み、はかない罪の楽しみにふけるよりも、むしろ神の民とともに苦しむことを選び取りました。

モーセには、当時奴隷であったイスラエル人として生きていくか、エジプトの王族の一員として生き続けるのかという選択がありました。そして彼は、イスラエル人として、自らを神の民の一人であることを選んだのでした。私たちにも、神の家族の一員としての身分を明らかにするかどうかの選択があります。洗礼式は、あなたが何者であるかを表す方法のひとつです。

2. 全てにまさる価値

ヘブル人への手紙 11:26 彼は、キリストのゆえに受ける辱めを、エジプトの宝にまさる大きな富と考えました。それは、与えられる報いから目を離さなかったからでした。

私たちがオープンに自分がクリスチャンであると明かす時、何らかのあざけりや不当な扱いを受けることがあります。しかし、私たちに与えられる報いはそれ以上の価値があります。天における永遠の報いは、この世の何よりもはるかに尊いのです。得るものが失うものよりも価値があるならば、そこに犠牲などないのです。

3. 集まることをやめたりせず…

ヘブル人への手紙 10:24-25 愛と善行を促すために、互いに注意を払おうではありませんか。ある人たちの習慣に倣って自分たちの集まりをやめたりせず、むしろ励まし合いましょう。その日が近づいていることが分かっているのですから、ますます励もうではありませんか。

私たちは、これまで以上にお互いの支えと励ましを必要としています。祝福を与え、そして祝福されるために、私たちは集まるのです。神の家族である教会の人々とのつながりは、私たちの霊的健康にとって不可欠です。私たちがイエスの名によって集まる時、イエスは私たちとともにそこにおられます。